

残りの者
シャーアル

石巻祈りの家NEWS LETTER 「シャーアル」(98号)
986-0801 宮城県石巻市水明北3丁目13番28号
TEL /0225-96-1497 Email/ hjm-ja2@yg8.so-net.ne.jp
振替口座 02290-6-126186 口座名称 阿部 一
●代表/阿部 一 ●副代表/菊池せい子



4/10に仮設の方と復興住宅に移った方が教会の支援への感謝の会を開催

信仰: 熊本・大分の大震災に愛を

- いつ収束するとも分からない震度の大きな地震が、熊本・大分を中心とした九州で連日起こっています。家屋が破壊され、人命が失われ、さらにライフラインの見通しも立たない恐怖の中で、避難所での過酷な生活を送られている方々を、神が支えて下さるように祈っています。
- 私たちも2011年に東日本大震災で、頻発する地震と共に今まで目にしたことも無い「巨大な津波」による生活破壊の恐ろしさを経験してきました。被災5年を経ても「復興」はまだ遠い先のことです。
- 今回の九州の地震災害には、東日本大震災と別の大きな問題が含まれています。阪神淡路大震災と東日本大震災の違いとはまた別の新たな問題です。
- 対処の難しい問題は、「いつ収束するか」「どこまで拡大するか」の見通しが付かないことです。もう一つは地震帯が連続していて「安全な場所」が確定できないことです。そのため、家屋や道路、橋脚、鉄道などのインフラの復興は、東日本大震災以上の年数がかかると思われます。
- 九州キリスト災害支援センターが直ぐ立ち上がり、キリスト教関係の支援団体やクリスチャン・ボランティアが直ぐに活動を開始されたことに感謝します。多くの支援を頂いた私たちも直ぐに支援金を送り、日々の祈りにその支援活動のために祈り続けています。
- 私たちの経験から、被災地に必要なものは時間と共に変わって来ますので、被災地の発信する必要なものに答えるのが一番有効で、大きな助けになります。
- できれば、被災地の商店を通して物資を購入して被災者を支援することが二重の支援になるというの、私たちが支援活動で学んだことです。
- 熊本市の市長がTVのインタビューで、「阪神淡路や東日本の大震災のことは頭で分かっていた積もりだったが、備えていた何倍の被災状況に、何も理解していなかったことが明らかにされた。」と反省の弁を述べていました。
- 自然災害はいつ起こるか分からず、予想はあくまでも今までの経験からの推定です。人間は災害の最低の予防しかできず、ましてやコントロールなどはできないものだという謙虚さが必要です。そして、この悲惨さに負けない愛を働かせることが求められています。
- 聖書でも、主の再臨がいつ起こるかはだれも知らない。その日は盗人のようにやって来ると警告し、日頃から備えが重要であることを教えています。そしてその前兆として人の間の「愛が冷える」と指摘しています。ここに私たち人間が立ち向かえる目標があります。
- 私たち3.11大震災の被災者にとっては、皆さんの祈りと愛の励ましがどれだけ大きな力になったのでしょうか。「愛が豊かに生きる支援」こそ、今回の支援でも望まれます。今日、私たちにできることは何でしょうか。

先月の多くの恵みから

- ① 4/17に、礼拝でメンターの森谷正志師から「良きわざと宣教」についての奨励を頂きました。愛餐会後に2016年度の年次総会を開催し、2015年度の主の恵みに感謝し、2016年度の活動計画を検討しました。今年は、マタイ16/15を目標聖句として毎朝、目覚めた時に、これに答え、常にキリストと共にある生活を目指します。続けて祈りの支援をお願いします。
- ② 4/4にこの冬最後(今期11回)の仮設への灯油支援を行うことができました。皆さんの愛の支援で温かくこの冬も過ごすことができました。感謝!

- ③ 4/10の午後に、仮設に残っている被災者と仮設を出られた被災者が集って、5年間にわたる教会の支援への感謝の会を持って下さいました。小さな群の私たちを用いてくださった支援者に心から感謝します。
- ④ 毎週土曜日、朝8時からの馬っ子山山頂で行われている早天祈禱会に、さまざまな先生方や兄弟姉が参加し、励ましを下されています。4/16には進藤龍也師も参加されました。
- ⑤ 4/7に秋田の斎藤美津子さんが主管する「ハート・メッセージ」より割り箸で励ましを書いた4月からのカレンダーを本年度も支援頂きました。仮設の他に石巻中央キリスト教会、渡波キリスト教会、希望の家を通して被災者の手に渡して頂きました。
- ⑥ 4/4には石巻中央CCに奉仕に来られていた台湾の伍師チーム、4/23には坂戸ブラジル人教会の時田師チームが来訪、4/24の礼拝にはDr.木下ご夫妻、HosmerとDean師家族が礼拝に出席されました。
- ⑦ コーディネートを依頼されていたオンギジャンイ(「陶器師」)のコンサートが4/16に渡波CCでもたれました。
- ⑧ 4月も励ましの献品と献金で支えて頂いて感謝です。
- ⑨ 5/1は浜松ともみ師、5/15は永井敏夫師が礼拝メッセージの奉仕をして下さる予定です。
- ⑩ 4/29に八重子姉のご主人の協力で、秋保へ教会員の交わりお出かけができ、楽しい時を過ごすことができました。

■ 今月、次の課題を祈っていただければ幸いです。

- ① 2016年度教会の活動が主に喜ばれる働きができるように。
- ② 会員のお母様が脳内出血で入院中です。意識が回復しますように
- ③ 熊本・大分の地震災害の被災者と被害教会のために。

群の定期集會	
・礼拝(毎週日曜日)	10:00-11:30
・祈り会(毎週水曜日)	10:00-11:30
・聖書を読む会(第1火曜日)	10:30-12:00
・ほっと・Time(第3火曜日)	10:30-12:00
・コーラス「花」(第2,4木曜日)	13:30-15:00
・楽しい手芸(第2,4月曜日)	10:00-12:00
・学習支援(地域の子どもの要望に応じて)	


信仰を詠う

5月 大漁旗への想い

一輪のたんぼぼ軒に顔を出す
「野の花を見よ」とみ声に包まる

大漁旗 手放す漁師の息聴こゆ
3. 1 1 刻む 船名撫でる

大漁旗 手揚げに変身支援者へ
3. 1 1 の残映歩く



阿部 八重子

4月14日、コーラス「花」は初めての平岡沼でのお花見会を持ちました。浮城橋を渡り乍ら桜鑑賞に浸る・・・爛漫の花中にハモる歌仲間。煩事を外に至福のひととき・・・